令和6年度 下野市立国分寺中学校 学校経営全体構想図

各教育関係法規、中学校学習指導要領、『栃木県教育振興基本計画2025－教育ビジョンとちぎ－』、『下都賀地区学校教育の重点』、『下野市学校教育計画』等

学校教育目標（目指す生徒像）

- 意欲をもち　自主的に学習する生徒
- 人と郷土を愛し　進んで奉仕する生徒
- 健康で　はつらつとした生徒

国分寺中学校区小中一貫教育計画

生徒、保護者や地域の実態、生徒や保護者の願い、地域の期待、教師の願い、学校を取り巻く環境・条件、学校の歴史

目指す教師像

「自ら学ぶ者こそ教師」（反省的実践者）

スローガン：「すべての活動は子供達のために」

1　生徒一人一人を理解し、信頼し、伸ばす教師
2　教材研究を大切にし、確かな学力を保証する教師
3　自己啓発に励み、専門職として責務を果たせる教師
4　組織の一員として、積極的に分業と協働のできる教師

目指す学校像

「明るく　きびきびと活動する　温かい学校」

スローガン：「当たり前のことをこつこつと」

＜明るい学校＞	＜きびきびと活動する学校＞	＜温かい学校＞
・生徒にとって居がいがあり、「明るさ」の保証された学校 ・生徒が喜びのエネルギーをもち、学校に行くのが楽しみになる学校	・生徒・教職員に判断力が身に付き、活動が機敏で活気のある学校 ・生徒・教職員が自主的に学び、主体的に問題を解決する学校	・教職員・生徒・保護者・地域の方々などが、互いに話し合い、相談できるような人間関係ができた学校 ・一人一人が自他の大切さを実感できる環境づくりに努める学校

学校経営の方針

(1)　学校教育目標の実現のため、努力点や具体策を明確にし、教職員一人一人の学校経営参画意識を高め、学びの連続性と学校・学年・学級の一貫した経営に当たる。
(2)　本校の地域及び生徒の実態と学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程を工夫・編成し、特色ある教育活動を展開する。
(3)　**「学ぶ力」**を育むため、学び合いのよさや学びの手応えを実感できる学習活動の充実と基礎的・基本的知識及び技能を活用した問題解決的な学習等の充実を図る。
(4)　**「豊かな心」**を育むため、生徒と教職員の確かな信頼関係と生徒同士の豊かな人間関係を基盤とした道徳教育を推進する。道徳科の指導と評価の充実を図り、温かい学校・学年・学級経営に努める。
(5)　**「健やかな体」**を育むため、心身の健康課題への適切な対応に組織的に取り組む。健康の保持増進と体力の向上に向けた積極的な取組と安全・安心な生活の確保に努める。
(6)　特別な支援を必要すると生徒のもつ特性について共通理解し、個別の教育支援計画を作成し、全教職員で適切な指導や必要な支援に努める。
(7)　全教職員が人権尊重の理念を理解し、人権感覚を磨き、人権に関わる資質・能力の向上に努め、全教育活動を通じて人権教育を推進する。
(8)　特別活動並びに総合的な学習の時間におけるキャリア教育の充実を図るとともに、小・中9年間を見通した系統的なキャリア教育・進路指導に努める。
(9)　いじめや不登校、非行問題に全教職員が協力して、未然防止の強化を図るとともに早期発見・早期対応に努める。初期対応は、迅速かつ誠意ある対応をとるとともに、専門機関との緊密な連携・協力に努める。
(10)　小・中9年間の連続性や系統性を重視した小中一貫教育を更に推進する。
(11)　社会の変化に対応できる情報活用能力の育成のため、ICTの有効活用に努める。全教育活動を通して情報モラル教育の充実に努める。情報セキュリティ及び情報の管理について認識を高め、保護・管理を徹底する。
(12)　家庭・地域社会・関係機関等を活用し、特色のある体験活動を推進するとともに、学校運営協議会やPTA組織等との連携・協働により、地域とともにある学校づくりに努める。
(13)　全教職員が危機意識をもち、安全管理や危機管理に関する校内管理体制の強化に努める。

本年度の努力点

(1)教職員一人一人が参画する「本校ならでは」の教育活動の推進
★(2)「学び合い」を生かした主体的・対話的で深い学び（探究と協同）の充実　(3)安全・安心な生活の確保
(4)特別支援教育の視点に立った生徒理解の深化　(5)いじめ・不登校等の未然防止と適切な初期対応
★(6)情報モラル等、規範意識や倫理観の育成、ICTの効果的な活用と個に応じた指導の工夫
(7)小中一貫教育と地域とともにある学校づくりの更なる活動の充実

学校課題

研究主題：「自己を見つめ主体的に学ぶ生徒の育成」

～互いの考えを伝え合い、探究心を育む指導の工夫～